

三位一体改革

問 地方への権限・税源移譲により国の補助金・負担金が削減することですが、先送りされた事項も多く不透明な部分が多くあります。御前崎市への影響はどのような事が考えられるか、又金額的にはどのくらいか

答 6月議会で市長の重点事項をお聞きしましたが、来年度予算編成にあたって、どのような事業に重点をおきますか

答 国の補助金・負担金などの程度が具体的な中身が示されていません。市への影響額は不明であります。市内各部に影響額の調査を指示すると共に、早急に国・県の情報を把握し17年度の予算編成に取り組みます。基本的には電源三法事業で既に承認された事業については継続する考えで

す。事務事業の改善やタウンミーティングのご意見を参考にしていきたいです。

介護予防施策

問 厚生労働省の試算では8年後に介護保険料が現在の3,300円から6,000円になるという見通しができました。但し介護予防対策の効果があがれば4,900円程度になります。当市での積極的な取り組みはないか

答 転倒予防として西側区民会館とぶるる、高齢者運動教室を通所リハビリテーション浜岡で、閉じこもり予防についてはおたっしや教室で実施、痴呆予防については講演会、教室、相談で対処しております。介護予防専門の施設設置につきまして関係の方々のご意見を伺うと共に先進事例調査などを含め引き続き検討します。

17年度歳入は

問 歳入のマイナス面として国・県の交付金・補助金の削減、更に市内の経済不況による市税が減収。行政実施のために運転資金が必要であり災害等の基金の備えを考えれば17年度は財源不足であると思います。反面プラス面として中部電力5号機の固定資産税が18年より見込まれます。よって17年度予算編成については新市の発展に必要な事業のために短期借入を行い歳入の平準化を図ると共に5カ年程度の本格的な歳入見込み計画を立てる必要があるのでは

答 17年度予算は編成中であり、5号機の固定資産税の増収は見込めますが、市税全体の落ち込み、国・県よりの交付税や負担金の削減など

大変厳しい状況です。今後は長期的な歳入見込み計画を立てて財政調整基金の積立、運用で年度間の歳入平準化に努めてまいります。

問 歳出について市民の最大の関心事は行政コストの低減です。経常経費の中でもまた6月議会でも答弁されましたが人件費削減、投資的経費についても厳しい選択はもとより将来性ある事業にメリハリある編成が必要だと思えます

答 17年度予算は編成中であり、市町村合併で目指す人件費等のコスト削減を始め経費抑制には総合計画の長期計画、短期ローリング計画、進行管理計画の中で行政評価制度の導入を考えています。目標管理の中での確かな予算編成をしてまいりたいと考えております。